

[招待論文]

CDN を用いた次世代インターネット技術の開発・普及の試み

門林 雄基[†] 阿部 哲士^{††} 南 政樹^{†††}

[†]奈良先端科学技術大学院大学 情報科学研究科

^{††}倉敷芸術科学大学

^{†††}慶応義塾大学

〒630-0101 奈良県生駒市高山町 8916-5

奈良先端科学技術大学院大学 情報科学研究科

Tel. : (0743) 72-5211

Email : youki-k@is.aist-nara.ac.jp

あらまし CDN によって、クライアント・サーバ型のサービス・アーキテクチャのボトルネックを解消し、ネットワーク全体からのサービスを行うことができる。また、コンテンツ配送のスケーラビリティを改善するだけでなく、キラーコンテンツが載る技術基盤を CDN を中核として形成することができると考えられる。我々の研究グループでは CDN を中核とし、アプリケーション層 QoS、コンテンツ・セキュリティ、IPv6 への移行について取り組みを行っている。これらの取り組みについて紹介するとともに、コンテンツ層インターネットワーキングの可能性について述べる。

CDN、次世代インターネット、QoS、IPv6、セキュリティ

IPv6 infrastructure development through CDN

Youki KADOBAYASHI[†], Takeshi ABE^{††}, Masaki MINAMI^{†††}

[†]Graduate School of Information Science,

Nara Institute of Science and Technology

^{††}Kurashiki University of Science and the Arts

^{†††}Keio University

Graduate School of Information Science,

Nara Institute of Science and Technology

8916-5 Takayama-cho, Ikoma-shi, Nara 630-0101, Japan

Tel. : +81 743 72 5211

Email : youki-k@is.aist-nara.ac.jp

CDN, Next Generation Internet, QoS, IPv6, Security